琉球・沖縄 年中行事 なんでも？！ Q&A

アカカビ（赤紙）について

●Answer
沖縄市・コザ山 球陽寺 前住職
帰依 龍照（きえ りゅうしょう）

Q なぜ、お正月に3枚綴りのアカカビ（赤紙）をお供えするのでしょうか？ アカカビに使われる、赤、白、黄の3色と綴る順番の意味を教えてください。地域によっては2色しかないところもあるそうで、順番もわが家は黄色を一番上にしますが赤が一般的なようです。順番には琉球舞踊の衣装の着方と関係があるとも聞きました。また、鏡餅は2段ですが、火ぬ神に供える餅は3段。その理由も教えていただけますでしょうか。
（うるま市・Nさん・女性）

A 沖縄では、ウチカビ（打紙）、シルカビ（白紙）、ダンカビ（段紙）、アカカビ（赤紙）など、祭具に使われる紙類に白紙や色紙を用いるしきたりが継承されています。ウチカビ、シルカビ、ダンカビは、ニンチスーコー（法事）や年中行事などの儀式や法要で用いることが多い紙です。ご質問にもあったアカカビは、グスージ（お祝い）で用いることが多い紙です。

アカカビの由来

アカカビが3枚綴りの意味は、天・地・水の森羅万象を表現したものとか、水と同意の仁（こころと表することもあります）に言い換えた儒教思想と解釈されることもあります。また中国では、3の数字が聖数とされ神聖な数字との考え方から、年始にあっても慶賀の代表的な数字とされました。このことから、沖縄でも慶賀を象徴する3色（赤・白・黄）のアカガミを綴ってのお供えが始まったともいわれます。

赤、白、黄 3種3色の意味

アカカビの赤、黄、白の3枚のことを、ウカリー（御嘉利）とか、カリーカビ（嘉利紙）、イルカビ（色紙）と呼ぶ地域や家庭があります。色の解釈には諸説あって、地域や家庭により異なりますが、一説では赤が日の出（昼）、黄が日の入（昼）、白が夜を表すといわれます。また別の説では、赤は血液の色から健康を象徴、黄は黄金から金銭を象徴、白は清浄から豊穣を象徴するともいわれます。実際には、紅白（赤・白）と幸福（黄色）のお祝いの組み合わせの3色になったとの説が有力だとされます。

2色しかない理由

赤と白の組み合わせは、源平合戦の源氏の白旗と平家の紅旗が有名です。民俗学者の柳田國男氏によれば、対照的な色彩でもある赤と白は、ハレの日やハレ着などのようにお祝いや幸福の折り目と節目をあらわす、ハレ（晴れ・霽れ）の色彩を現しているとされます。幸福の色とされる黄色も、本来は紅白に含まれるという考え方から、赤と白の2種類だけのアカカビの作法もあるといわれます。

アカカビの順番の意味

赤を一番上に置く理由の一つには、お祝い事を明確に象徴するためという考え方があります。白だとシルカビと混同する、黄はウチカビと混同するという理由もあって、赤が一般的になったようです。

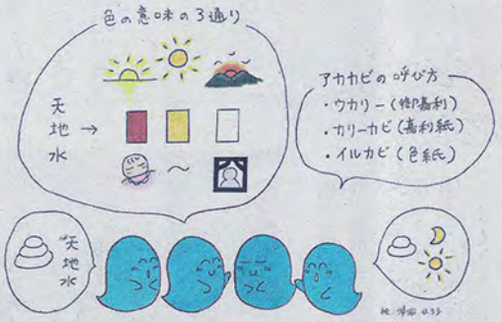
赤は赤ちゃんから人生の誕生を表し、白は白装束から人生の終焉を表すとも言われます。このような人生の色にこだわらない場合では、赤や白よりも幸福の黄を一番上に置く考え方もあります。これも、それぞれの地域性と考えて差し支えないかと思います。

琉球舞踊の衣装の着方と関係を琉球舞踊の先生に伺ったところ、直接の因果関係ははっきりしませんが、今後の研究テーマとして興味深いですねとのことでした。そもそも紅型の「紅」とは、単に紅色つまり赤を象徴しているのではなく、それぞれ多様な色彩の代名詞ということだそうです。貴重な顔料からつくられる色に優劣はなく、その題目や役柄によって着方があるのだそうです。

火ぬ神に供える餅が3段の理由

鏡餅が2段の意味は、陰（月）と陽（太陽）を表しているといわれます。ヒヌカンにお供えするお餅やタンナファクルーのことをウチャヌクといいますが、漢字では御茶之子と書きます。3個と3段の意味は、前述のアカカビの3枚綴りと同意で天、地、水の森羅万象を表現しているといわれます。

質問されたNさんの着眼点は、とても素晴らしく。琉球舞踊の衣装と沖縄のしきたりやアカカビとの関連など、とても興味深い内容でした。海の青さ、空の青さの色彩的環境に恵まれた沖縄にあって、鮮やかなアカカビも、その繁栄を象徴する色彩なのかもしれません。



帰依 龍照 1968年岡山県出身（50歳）／学歴：岡山大学大学院博士課程単位取得・中央仏教学院研究科卒／専門分野：哲学（宗教哲学）／沖縄県内にて年間多数の住宅・墓の起工式（地鎮祭）を担当しつつ、団体・企業・学校にて「琉球・沖縄の年中行事・葬式・法事」に関する、進学・就職・いのちの講演活動を行う／FM沖縄「Sh@re TIME（しぇあたいむ）」・「トラディッショナルokinawa」毎週月曜出演中
ホームページ：http://www.kozazankyuyoji.com/　ブログ：http://ameblo.jp/kozazankyuyoji

【質問をお寄せください】 年中行事やしきたりに関して、日ごろから疑問に思っていることや、質問をお寄せください。随時、紙面で紹介する予定です。「かふう編集室 年中行事Q＆A係」郵送、FAX、メールで受付。宛先は19面をご覧ください。